

誰もが！

## 参加しやすい自治会 ～コミュニケーションの創出～



〈5班〉

反保区  
下野区  
城北5区  
朝日区

中垣内 正治  
田端 孝幸  
高倉 学  
中村 淳希

自治会の業務は基本的に区民みんなで決めていくものです。ということは、話し合う場、意見交換する場、コミュニケーションの場が必要になります。そこで、私たちは「誰もが参加しやすい自治会～コミュニケーションの創出～」について考えることとしました。

## 🌀 課題

- ・雪かきや溝清掃などを高齢者ができず、**負担が偏っている**
- ・親世代が元気で子世代が出てこない
- ・若い世代や女性の参加が**少ない**
- ・高齢者が若者に**意見してしまう**(悪い意味で)
- ・役員の**担い手不足**
- ・集会所のバリアフリー化が**進んでいない**

## 💡 可能性

- ・市の補助金で解決した**事例がある**
- ・**負担を分担**する仕組みづくり
- ・親世代の**お年寄りが元気**
- ・活動次第でもっと**若い人や女性を増やせる**
- ・地域内の**助け合いの意識を強くする**

## 👏 プラン

- ① **区長を支える事務局の結成**
- ② **自治会活性化のための支援を！**
- ③ **女性も活躍できる体制へ**

2

課題とそこからみえてきた可能性、プランの順に発表します。

## 地域の問題・課題

### 福祉・人権・文化

- ・雪かきなどを高齢者ができず、近所の人に**負担が偏っている**
- ・集会所のバリアフリー化が進んでいない

### 防災・防犯・環境

- ・交通ルールを守らない人が多い
- ・空き家の増加（壊せない、小動物が住み着く）
- ・外国人とのギャップ（ゴミ出しルール、騒音、コミュニケーション）

### 人材・担い手

- ・親世代が元気で**子世代の参加が少ない**
- ・高齢者世帯の増加による**役員の担い手不足**
- ・高齢者が**若者に意見してしまう**（悪い意味で）

3

まず課題です。

福祉・人権・文化の分野では一部の人に負担が偏っていること、集会所のバリアフリーが進んでいない

防災・防犯・環境の分野では交通ルールの問題や空き家の増加が挙げられました。

人材・担い手の分野では子世代の参加が少ない、役員の担い手不足、高齢者が悪い意味で若者に意見してしまうといった課題がでました。

## 人材・担い手 分野からみえる地域の可能性

### 課題

- ・親世代が元気で  
子世代の参加が少ない
- ・高齢者世帯の増加による  
役員の担い手不足
- ・高齢者が若者に意見してしまう  
(悪い意味で)



### 可能性

- ・親世代のお年寄りが元気
- ・地域内の助け合いの意識を強くして  
いくと繋がりが増えるかもしれない
- ・負担を分担する仕組みづくりをすれば  
担い手が増えるかもしれない
- ・活動次第でもっと若い人や女性を  
増やせる
- ・市の補助金で解決した事例がある  
→活用次第で活性化する可能性あり

4

以上のように、人材・担い手分野から見える地域の可能性ということで、親世代が元気で子世代（30-50代）の参加が少なく、せっかく若者が役員になっても、一部の高齢者が昔からの考えを悪い意味で押し付けてしまうなど若者がどんどん地域活動から離れてしまい、役員の担い手不足に繋がってしまうという課題があります。

しかし裏を返せば、親世代が元気であることは大変素晴らしいことであり、優しく若者のサポートに回っていただいて、みんなで地域を盛り上げようとする、活動次第では、子世代の若者や女性などの参加を増やせるのではないかと考えます。

## 未来像

区長丸投げ → みんなでつながって大きな輪をつくろう!



そのためには…

若者や女性を含めた、**地域内の関係づくり**が大切!

5

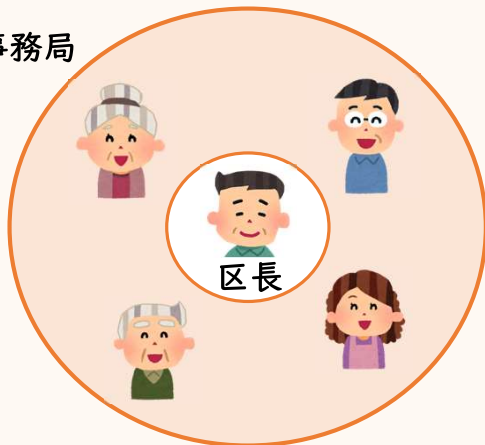
その結果、区の役員不足を解決できれば、今は区長に丸投げされている仕事も分散することが出来、区長の負担軽減にもつながり、何より区長を中心にバックアップしてくれる人たち、役員さんなどみんなで大きな輪ができるのではないかと思います。

そのためには、若者や女性が参加しやすい雰囲気づくりが必要になってくると思います。

## アクションプラン① 区長を支える事務局の結成

### ★ 事務局結成のメリット

事務局



- ★ 若者と高齢者 混合で結成する
- ★ 平日は高齢者、休日は若者が支える
- ★ 短時間の活動で、負担を小さく!



区長

周りが支えてくれるから  
区長業務の負担が減った  
担い手も増えてうれしい!



若者

休日・短時間の活動で  
仕事や生活との両立ができる  
自分たちにもできた!



高齢者

経験を活かして地域で活躍!  
地域の伝統が  
次世代に継承されて安心

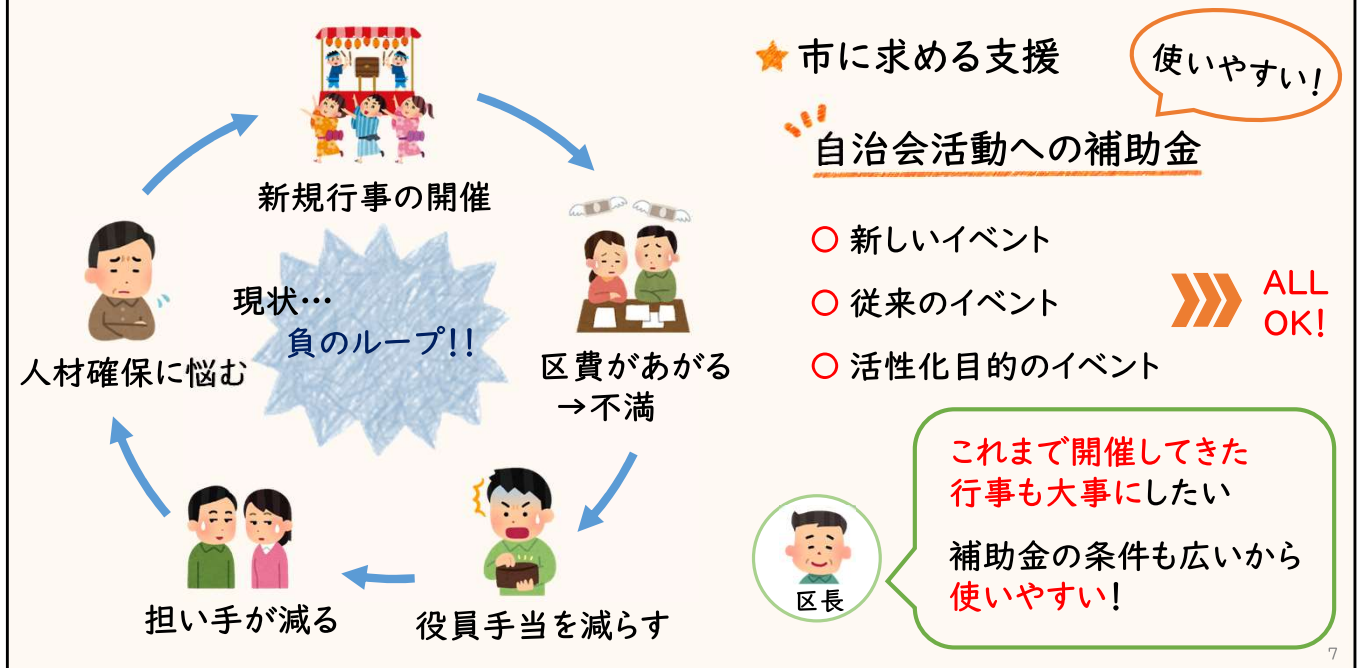
6

1つ目のアクションプランは「区長を支える事務局の結成」です。

若者と高齢者混合で区長の業務を支えます。支える側も負担にならないように、短時間の活動で、若者が仕事をしている平日は高齢者、休日は若者が支える仕組みを考えました。

事務局を結成することで、区長は業務の負担が減り、負担が減ることで次世代の担い手の確保も期待できます。若者も仕事や生活と両立できる仕組みのため、無理なく地域活動に関わることができ、課題で出た「子世代の参加が少ない」という問題や繋がり不足も解消できます。

## アクションプラン② 自治会活性化のための支援を！



2つ目のアクションプランは「自治会活性化のための支援を！」です。このプランは自治会の声を市に届けることを目的としています。

無関心な人たちを活動に取り込むため新しい行事を開催する、開催費用を区費で補うため区費があがり区民から不満が出る、区費の代わりに役員手当を減らす、手当が少ないため、ますます担い手が減る、人材確保に悩む、また行事で人を呼ぶ…といったように現状の自治会活動は負のループです。

そこで市に補助金を出してほしいと考えました。県から出ている補助金は交付条件に制限があるため、自治会活動活性化のためのイベントなら、新旧問わずに使える使いやすい補助金制度を作ってください。

## アクションプラン③ 女性も活躍できる体制へ

### 案1

#### 女性手当の導入



女性が区長になると  
手当が支給される制度

- ★ 隠れた人材の発掘
- ★ これまでとは違った  
役員会

### 案2

#### 女性向けイベントの実施



★ 同世代や区内の繋がり  
形成

#### 課題

イベントを企画する役員が  
現状、男性中心

### 案3

#### プラン①事務局に 女性枠を設置



男性中心の役員会から  
男女平等の役員会へ

- ★ 福祉委員は女性が多い  
→ 子ども・高齢者も  
巻き込んでいける  
可能性あり

3つ目のアクションプランは「女性も活躍できる体制へ」です。

5班では、これからの自治会は若者や女性が主導していくべきだという意見になりました。そこで3つ案を考えました。

①女性手当の導入②女性向けイベントの実施③女性枠の設置です。

どれも大事と考えますが、区の役員に助成枠を設け、男性社会から男女平等の役員会づくりを考える、また、男性中心のため、女性の求めていることが男性では分かりにくいので、なおさら、女性が集まりにくいことを踏まえ、女性目線で高齢者及び子どもを巻き込んでいき、行事等を従来のように復活させていくことが大事ではないかと思います。また、女性が色々な行事に参加したくても、誰も出ないから嫌だという声も実際聞きますので、誰しものが参加しやすい環境づくりをしなければいけないと思いました。



## 住民WSに参加して感じたこと・伝えたいこと

### 反保区 中垣内 正治

感じたこと

参加前は、区の役員等のなり手がいなければ面倒くさいので自分がやれば楽なのでやれば良いと思っていたが、参加して若者たちへ区の行事等を引き継いでいく為には若い人たちを育てていかなければいけないと思った。

伝えたいこと

女性参加の区役員(若者含む)会にしていかないと区の発展はないこと

### 下野区 田端 孝幸

感じたこと

区長になる前は区のごことは別事だと思っていたが区長になって区のごことを思うようになり、区のごことを考えるようになった。

伝えたいこと

区のご行事を行うためにはお金が必要になるのでその資金集めをどうするのか

## 住民WSに参加して感じたこと・伝えたいこと

### 城北5区 高倉 学

感じたこと

どこも同じ様な問題を抱え、皆それぞれ苦心して問題解決を図っていると思った。来年区長になるため不安だったが、同じような悩みを持つ人がこれだけいることが分かり、なんとなく不安感も低くなった。

伝えたいこと

災害が増えていることを考えれば、コミュニケーションの場はどうしても必要なこと  
デジタルツール(自治会サポ!、LINE等)は一つの良い方法だと思う

### 朝日区 中村 淳希

感じたこと

他の区の人たちと話してみんな同じような悩みを抱えているのが分かった。参加する前よりも『どうすれば今よりも区・自治会が良い方向に向かうか』考えるようになった。

伝えたいこと

今ある行事がいかに大切か、コミュニケーションの場がなくなると自治会は終わる